

優秀賞

多摩ブルー賞【技術・製品部門】

株式会社 ウォールナット

非破壊路面下空洞厚測定装置

近年、河川や港湾の堤防・護岸では、異常気象による集中豪雨や台風による法面裏側の土砂流出による陥没事故が懸念されています。国土交通省は2014年度から橋梁や道路トンネルの定期点検を地方自治体に義務づけると発表しました。地下の空洞化による道路陥没が年間5,000件程度発生している現状では、暮らしに欠くことのできない最も重要なインフラである道路の維持管理に焦点が集まっています。予算の拡充にしたい委託業務の発注量は増加傾向にあり、市場も活性化しています。

そして、陥没事故を防ぐための路面下空洞調査による維持管理は定常化されています。従来、地中レーダの役割は非破壊で空洞の有無を判定することにあり、空洞厚の確認は削孔に頼らざるを得ませんでした。このため、レーダ測定の段階では、陥没を引き起こす大きな厚い空洞の特定は不可能でした。当社では、複数の異なる周波数帯域の電磁波を放射し、各反射波の相違を比較することにより空洞厚を決定する方法を考案し、削孔せずに空洞厚を測定する技術を開発致し



ました。削孔不要によるインフラ設備の破損事故リスク回避、また、削孔作業スペース確保不要による工期短縮と交通渋滞緩和を実現し、総合的にコスト削減を可能とするサービスを提供することが可能となりました。『社会生活の安全を守る』という経営理念のもと、その一助となるべく非破壊路面下空洞厚測定装置を用いて削孔の要らない効率的な計測サービスを提供していきます。

最優秀は日野・新協電子、青梅・武州工業 多摩ブルー・グリーン賞

多摩地区で活躍する中小企業の優れた技術や製品、ビジネスモデルを表彰する第十二回「多摩ブルー・グリーン賞」(多摩信用金庫主催、東京新聞立川支局など後援)の表彰式が十六日、立川市内で行われた。最優秀賞は、技術・製品部門のブルー賞が新協電子(日野市)、経営部門のグリーン賞が武州工業(青梅市)に決まった。

新協電子は、デジタル業務・防災無線設備向けのアプローチ回線接続機「μVOCICOM(マイクロボイコム)」の開発が評価された。都道府県防災システムや津波警報装置、消防・列車無線に使われている。

武州工業は、ミニ設備九台による生産ライン「一個流し生産」が評価された。一人の作業者が材料調達、加工、品質管理、納入管理まで全工程を受け持ち、自立性と責任感が生まれる高い生産性を実現した。

選考委員長の関端博・明星大教授は「多摩の底力を感じた。人口減、高齢化が進む次の時代を牽引する産業が成長しなくてはならず、受賞企業は、まさにそつした企業」と講評した。

その他の受賞企業は以下の通り。

【優秀賞】
 △ブルー賞 △ウォールナット(立川市) △応用技研(清瀬市) △ニシハラ理工(武蔵村山市) △日本分析工業(瑞穂町)
 △グリーン賞 △エム・ケー(日野市) △シンフォニー(調布市)
 【経済産業省関東経済産業局長賞】ニシハラ理工
 【東京都産業労働局長賞】丸和製作所(昭島市)
 【奨励賞】
 △ブルー賞 △上島製作所(国立市) △監紙革命(多摩市) △相馬光学(日の出町) △東京テクノ(町田市) △日新技研(入間市) △ワイワイシステム(所沢市)
 △グリーン賞 △オーベル(調布市) △小嶋工務店(小金井市) △嵯峨野(福生市) △CS技術開発(多摩市) △セフレティア(立川市) △タカキ(東大和市) △チャイルドライフ(八王子市) △丸和製作所

第13回 多摩ブルー・グリーン賞 表彰式

多摩ブルー・グリーン賞受賞企業のみなさん(立川市で)

出展:東京新聞
2015年12月17日掲載



表彰状

第十三回多摩ブルーグリーン賞
技術製品部門優秀賞

株式会社 ウォールナット

代表取締役 齋藤 豊 殿

貴社の技術・製品は優秀性・独自性等において著しく優れたものであり、多摩地域中企業の活性化および地域経済の振興に寄与すると同時に、日本経済の指針となりうる先進的な取り組みであると認めます。ここにその栄誉を讃え、記念品を贈り、これを表彰します。

平成二十七年十二月十六日

多摩信用金庫

理事長 八木敏郎